

ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク運転開始



2月1日に運転を開始した「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」は、出力規模42.9MWの本州最大の太陽光発電所です。年間に、一般家庭約12,000世帯分の年間消費電力量相当を発電することができ、14,300トンのCO₂（原油換算：約10,340 KL）削減効果が期待できます。

敷地内のガイダンス施設「とっとり自然環境館」では、ソーラーパークの紹介のほか、鳥取の豊かな自然やそれを生かした様々な自然エネルギー利用の施設、地域の環境保全の取組等を紹介しています。

■とっとり自然環境館（米子市大崎字中海ノ一3421-9）
電話／0859-21-8533 開館時間／10：00～17：00 入館無料



■ ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク
運転開始

■ ラムサール条約登録湿地
「中海・宍道湖」合同シンポジウム

■ 中海産海藻肥料による農業改革

■ 地域との連携で未利用資源の
海藻を利活用し循環型社会の構築

■ 第6期「中海に係る湖沼水質保全計
画」の策定について

■ 中海の環境を五感でチェック！

ラムサール条約登録湿地「中海・宍道湖」合同シンポジウム

鳥取・島根両県では、ラムサール条約登録湿地「中海・宍道湖」の保全と賢明利用を推進するため、連携してリレーシンポジウム（ミニ講演会、学習会など）を開催しています。

今年度、これまで各県2回ずつ計4回開催してきましたが、締めくくりとして両県合同で、平成26年1月18日（土）に、くにびきメッセ（松江市）で開催しました。

当日は、中海・宍道湖で環境活動をしている子どもたちによる自然体験活動や交流活動などの報告と「らんま先生」のエコ実験パフォーマンスショーを行い、ご来場いただいた約300人の方々に楽しく学んでいただきました。

【子どもたちの活動報告】

＜宍道湖グリーンパーク&ゴビウスKODOMO ラムサール探偵団＞

宍道湖でのシジミ漁体験や生き物観察など自然体験活動について報告がありました。



＜米子水鳥公園こどもラムサールクラブ・ ジュニアレンジャークラブ＞

琵琶湖の子どもたちとの湿地交流、インドでのKODOMOラムサール交流、中海の環境モニタリングについて報告がありました。



【らんま先生のエコ実験パフォーマンスショー】

環境や科学の知識とジャグリングや手品の要素・技術を融合させた環境パフォーマンスという新しい講演スタイルを作り上げた環境省が認定した環境カウンセラーのらんま先生を講師に迎え、実験などを通じて水環境を始めとする環境問題について楽しくお話いただきました。



太陽光、水力、風力などの自然エネルギーの活用や、牛乳パックのリサイクル、清涼飲料水を利用した水を透明にする実験などと、ユーモアあふれるトークとジャグリングや手品で小さなお子さんにも楽しく、わかりやすいステージで、会場は笑いでいっぱいとなりました。

また、らんま先生とウルトラマンのコラボレーションによるエコサイエンスショーが行われ、ウルトラマンの登場で、大いに盛り上がりました。

平成23年に農業者・漁業者・NPO・企業等により設立し、3年が経過しました。その間に藻刈りによって採取した箇所の水質が良くなり魚介類の増殖が確認されました。

回収後の海藻は主に肥料として活用していますが、当初は乾燥・粉碎加工しただけの製品でした。会員の圃場や島根大学、西部農業改良普及所等の協力を得て試験栽培や試行錯誤を繰り返し、農業者のニーズに沿ったペレット型が完成しました。これにより、施肥作業の効率化が図れます。



ペレット型ミネラル海藻



生育状況の聞き取り調査

農作物では、境港市で開催した野菜市をきっかけに海藻農法を導入したり、中海産海藻肥料で栽培したお米が次々と表彰されたりとその需要は全国へ広がっています。地元でも各地域で集結し、ブランド化を目指す農業者が増えてきました。また、伯耆町では2月に農業生産法人を設立し、東京の居酒屋へ野菜を提供していく考えです。

3回目を迎えた「中海産海藻肥料による農業改革セミナー」では、中海で採取されるオゴノリは、輸入に頼るカリ肥料の代替原料として、海藻の中でもカリを多く含むと注目が集まっています。これらを好機と捉え、どんどんPRしていきたいと思えます。



■ 海藻農法普及協議会

〒684-0004 境港市大正町38番地
(NPO法人 未来守りネットワーク内)
TEL (0859)47-4330
<http://www.kaisounouhou.jp/>

地域との連携で未利用資源の海藻を利活用し循環型社会の構築

認定NPO法人 自然再生センター

私たちは、生態系のバランスに配慮しながら伝統的手法で中海漁協さんと藻刈りを展開しています。これには、常に多くの漁業者に中海の様子を観察してもらえるとという二次的な効果もあります。



また、海藻の荷揚げ、畑に直播き等の作業は社会福祉法人F&Y境港の通所者さんが行います。自然の中での作業をするうちに進んで挨拶をされはじめると、事業の目的にやりがいを感じ作業に積極的に協力していただいています。



そして、海藻で土壌改良した畑の作物には商標登録「なかうみちゃん」シールを貼り付け、付加価値を強調しています。



作物は境港市の水木しげるロードの延長線にある「元気みなと商店街」で月に二回販売しています。また、松江市にある事務所前で天神市の際にも販売しています。

私たちは、中海周辺住民の方に海藻を腐敗する前に利活用して頂くことで、水質保全と共に普及啓発しています。

■ 認定NPO法人 自然再生センター

〒690-0064 松江市天神町114番地
TEL (0852)21-4882
<http://www.sizen-saisei.org/>

第6期「中海に係る湖沼水質保全計画」の策定について

中海では望ましい将来像である「みんなで守り、はぐくむ、豊かな中海」を目指して、湖沼水質保全計画を策定し、生活排水対策や農地対策などを総合的に推進してきました。

来年度は、第6期計画を策定する予定ですので、住民のみなさまのご意見をいただきたいと考えています。

【スケジュール（予定）】

- ・平成26年8月 パブリックコメント
- ・平成27年3月 計画策定

策定へ向けた進捗状況については、ホームページ等で適宜情報提供させていただく予定ですので、ぜひご覧ください。



■島根県環境政策課穴道湖・中海対策推進室

http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

■鳥取県水・大気環境課

<http://www.pref.tottori.lg.jp/20225.htm>

中海の環境を五感でチェック！

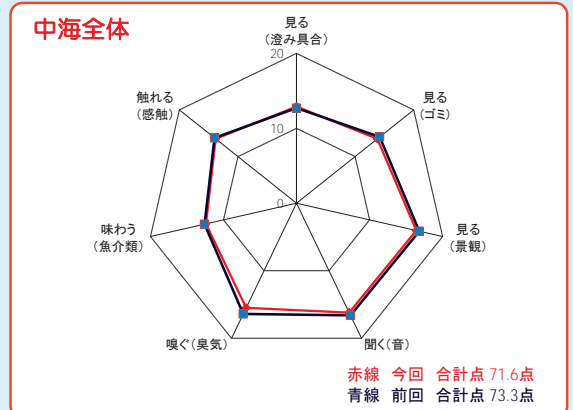
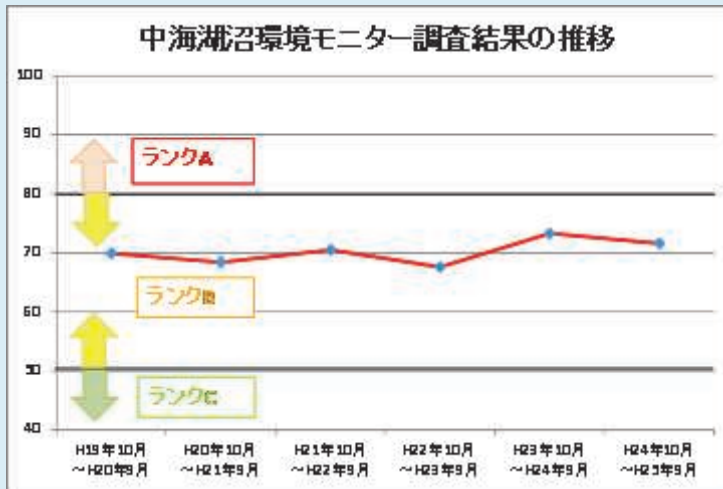
平成24年10月～平成25年9月の調査結果

鳥取・島根両県では誰でも中海の環境を五感（見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わう）で評価できる指標を用いて、湖沼環境モニターの方による湖沼環境の調査を行っています。

調査は公募した湖沼環境モニターの方に毎月1回中海の湖岸担当地点に向いて貰い、水環境を五感観察項目ごとに採点してもらった結果を集計し、合計点数に応じ各地点の環境をA～Cのランクで評価するものです。

県民の方の参加により実施している「湖沼環境モニター」の平成24年10月から平成25年9月までの調査結果がまとまりましたので報告します。

中海の調査地点全体の平均点は71.6点で、**ランクB「やや気になる面はあるが、ますます良好な環境であると感じられる」**でした。



■五感による湖沼環境ランク表

合計点数	ランク	評価内容
80点以上	A	おおむね良好で親しみやすい環境であると感ぜられる。
50点～79点	B	やや気になる面はあるが、ますます良好な環境であると感じられる。
49点以下	C	快適さに欠け、親しみにくい環境であると感ぜられる。



中海の環境活動イベント情報をホームページに掲載しています

中海・穴道湖情報館 イベント情報 ホームページアドレス <http://www.nakaumi-shinjiko.jp/calendar.html>

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所
生活環境局環境・循環推進課
鳥取県米子市靴町一丁目160
電話 (0859)31-9350
E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.jp
Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

島根県環境生活部環境政策課
穴道湖・中海対策推進室
島根県松江市殿町1番地
電話 (0852)22-6445
E-mail: kankyo@pref.shimane.lg.jp
Homepage: http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページをご確認ください。なお、投稿にあたっては出来る限り電子データで投稿をお願いします。